京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價 一枚金二錢 一ヶ月前金三十錢 三ヶ月前金九十錢 六ヶ月前金一圓八十錢 郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休日(日刊)
廣告料金 五號活字十七字詰一行一回金十錢 特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久辭一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社
電話大三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一二番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

寄書

●電鐵事業 公園經營論(四) 岡崎遠光

第三、京城の電鐵及公園

京城の市勢を通観するに周圍約五里其の包攝する所の人口實に二十有八萬其の内内地人の移住は既に六萬に上れり而して新渡來者日を追つて増加せんとす乃ち當初南山々麓一帯の地に占居したるもの今や其の狭隘を感じ遂に市の中心なる鐘路に向つて漸進するの傾向を示す此の趨勢は總督政治の發展と共に其の速力を増進すべきや言を俟たず況や皇謨の蕩破する處積年の秕政逐漸革新せらるゝものあるに於てをや或は產業の開展となり或は教育の振興となり或は風習の刷新となり或は道路の開鑿となり苟且偸安の餘弊亦一掃せられんとす乃ち鮮人の生活狀態は改善せられ其の嗜好、娯樂、遊戯、衛生等逐次文明的たらんとす而して此の新繁榮に應ずるには新設備なかるべからず現今及將來に於ける京城の都市經營策如何は官民共に細心研究すべき當面の問題にあらずや

先進都市の事例を按ずるに交通機關は實に都市の血脈なり敏活なる血脈の運行は即ち都市の健全なる發達の動因なり電鐵が市の血脈として完全に其の任務を遂行せんとせば則ち賃金は低廉速力は敏速及軌道は完全を要す而して電鐵なるものは市民生活狀態の向上を促進し身心の爽快、家居の慰安、往來の輕便、街衢の膨脹等を助成し都門繁昌の一大主因たるや復た贅言を要せず今や京城の電氣鐵道は既に整理時代を經過して方に發展の途上に在り市の中央なる鐘路を起點とし東は東大門を經て清凉里に至り西は西大門、孔德里を過ぎて麻浦に延び南は南大門に由りて新龍山を連絡せしめ其の延長實に十八哩餘京城市の現況に比して聊か進歩せるものと謂ふべし若し夫れ將來の豫定線の布設を終りなば先づ間然する所なきに至らん歟

更に京城市の商業的中樞を觀察するに之を二部に分つ事を得べし一は南山々麓に沿ふ一帶の地即ち本町通にして所謂内地人の商業區なり一は京城市の中央なる鐘路通にして所謂朝鮮人の商業區なり本町通は二、三十年以來内地人が苦心經營せる所にして現在に於ては京城市の商業中心と謂ふも過言にあらず物資の豐富及設備の完全は内地の中小都市に比するに敢て遜色なく其の發展や實に驚くべきものあり然れども元是れ内地人主力の此の一帶に向つて注がれたりし時代の餘響に過ぎずして其の地域たるや甚だ狹く到底大規模の經營に適せず況や近時潮の如き勢を以て増加せる内地人は隨所に其の居住を占め敢て此の方面にのみ眷戀せざるに於てをや鐘路通は五百年の商業歷史を有し而も地の利を市の中央に占むるを以て其の勢力や奪ふべからざるものあり加之近來に至りては店舗の改良、家屋の新築等益々順境に進みつゝあり加ふるに商工業の發展上最も必要なる電氣鐵道は鐘路を起點として三方に向つて走行するを以て顧客集散の鐘路を中心として行ばるゝは自然の趨勢なり京城市の膨脹が此の電鐵線路に沿ふて現はるゝと同時に市の商業中心は自然鐘路に向つて移動し集中すべきは亦自然の理ならずや

文苑

●古城壁下に立ちて(上) 圭木隆

祖國、
櫻さく、
向島恩師の音信、
臥龍梅、母が宿、
多摩の水上、
ひんがしは武藏大野、
故郷にはらから仕ふ、
九十の祖母に、
父なき後。

花がつら、
西國に移されて、
約違ふ寒山寺、
あはたゞし、
半島の人となりき、
不孝兒の免るせ、
アンビション。

思はじな、
島流し、
アカシャの綠葉に、
晩夏の月、
散索の夕ざり、
琴の音に、
三味の音に、
廃出でゝ、
近隣の垣間見、秋風ふく、

朝顔枯れ、
菊咲き、
落葉する、
霜の冬、
あゝ淋し、
寒肌に、
うらみしがながし眼に仰ぎしが、
温突の人、
ストーブの立つ烟。

●飛びく日記 仁川 たび家丹葉投

……△素見▽……(一)

素人の呉服屋と云はれて面目ないッ……その前提のも[illegible]の主人小盤さんが出陳されし見切りものいゝ―捻くりながら一寸素見申候併し萬引きをする程のしれ者にも之なくに付折角ご懸念御無用に候

御愛顧とぶつきら棒に御慶かな

道がは商人何處やらに角が取れた挨拶振り、商品の内容も左こそと首肯た。

女房よいか、酒よいか、何れ今日の春

よかく〳〵と矢鱈に遣ふカゴ辯、震つた樣な語柄ながら、偖て別段よかよかとも思はず、何れ！と猶飽足らず慾張ッた所けふの春には如何にや、とは云へ一年の計は元日に有りとの諺かも知れず呵々。

薺打つにアラ、ンの唄隣家にす

在鮮者としてのご互の境遇、穿ち得て妙、然かも唐土の鳥の本土に於いて。

外事一束

▲在米●日本人移民防止運動を行ふに決し渡米中の新渡邊博士亦運動に加る

▲葡國●罷業騷動漸く頓挫を來し下級民居住區の主謀嫌疑者數十名捕縛さる

▲伊艦●又々亞剌比亞海岸に於て亂暴を働き土民の眞珠採取船を襲ひ暴行す

▲葡國●其の殖民地を獨逸に割讓すとの風説は無根の旨葡國政府に報道さる

▲庫倫●活佛經費不足につき金鑛抵當として露國より四百萬兩借入を商議す

▲日米●漁業團マグレナ灣に五百エーカーの地を要求するも國務卿ノックス

▲拒否●して曰くモンロー主義存在の故に不可なりと云ふと桑港新聞報道す

▲東清●鐵道營業局長交涉局長大連に至り日露聯絡に關して打合をなすと

梁川庄八 小金井蘆洲演

第九十五回

宰領は申に及ばず問屋場役人一同折入て謝まつたものでございますから、庄八も打解けて内濟金など、申したが、固より左様な金を取らうと云ふ所存は毛頭ない、此後はこれに懲りて假初にも旅人へ迷惑を掛けては相成らぬぞ』と堅く戒め恐入つたと云ふ詫書を一本取り、若し之が勝に落ぬとあらば今晩は鳴海の宿に一泊致すから矢でも鐵砲でも持て來なさい』と云放つて、傲然として問屋場を立出で此宿に一泊致しました、日頃强慾非道の問屋場役人が浪人者の爲にさん〳〵窘められたと聞て宿内の者は却つて手を拍つて喜んで居ります、隨分昔しは此問屋場役人などゝ云ふものは所謂虎の威を假る狐で、旅人や宿内の者の金錢を貪り取つたものと見へます、扨其翌朝梁川庄八は問屋場役人宰領に合つて、後來を戒めて詫書を返してやり、鳴海を出發して名古屋の城下に乘込み、五六日滯在をして諸方見物を致します、瀧川上野介が梁川の旅宿へ使を以て迎によこし改めて對面を致し最と叮嚀なる待遇を受けて二日滯在をいたし、禮を述べて此處を出立をなし、逆に熱田に引返し宮の熱田大明神に參詣をいたしまして、此所から乘合船で桑名を越そうと、船場をさして來ると、今既に二番船が出ようと云ふ所へ『船』『お客さん船へお乘んなさるのかなも、二番船が出ますか』『ハイ乘船をしたい』『船』『では船賃を先に頂きますでなも、お武家様だに依つてお二人前頂きまがなも』庄『ハアどう云ふ譯で武家に限つて二人前を……』船『お武家と云ふものはお手荷物がございますのに、大小と云ふものが幅を取りますので場所が甚らう塞りますがなも、それ故二人前頂きますがなも、一寸樂にお在なさらうと思つたら三人分頂けば、少々位お横になんなすつても宜うございますがなも』尾張名古屋の特長でなも〳〵云ふので、庄八も笑出した庄『アハヽ、さうか、俺は何だ一人分しか拂はない』船『ハア左様でございますかなも』庄『場所を塞ぐから二人前呉れろと云ふが、塞がなければ宜いだらう』船『塞がないと仰しやつてもお手荷物や大小がございますがなも、どうしても塞がりますがなも』庄『イヤ荷物は膝に置く、大小は擔いで居る』船『ヘエ大層勘定高いお侍だと思つたが』船『左様なら宜うございますがなも一人分頂戴致しますがなも』懐中から金子を出して定めの船賃を拂ひ、船の艫の所へ來て言つた通り荷物を膝に載せ大小を擔げて居りまする中に、追々客が乘込んで來て早や一ぱいになり、軈て時刻が來ると船出、當今でも瀬車などに乘つて長距離を旅行致しますと中には乘合ひの人徒然の餘り話をしたのが始りで別懇になる人などがございます、當今ですらそれだから昔は尚更の事で、風都合が宜ければ早く着くが、風都合が惡いとビシャ〳〵ビシャ〳〵僅か七里の海上も、殆んど今の時間としたら八九時間を要する所から、乘込みの者も退屈し、從つて何時の間から樣々の浮世話が始まる、商人らしいのもあれば職人體の者もあり、百姓體の者もあります其中に梁川庄八唯一人默つて人の話を聞いて居ると、銘々自分の土地自慢、甲『マア宜い風都合と思つて出た所が生憎風が惡くなつた、此鹽梅では着きがチト遲くなりませう』乙『さうですね』甲『へ、貴所は一體何所でございます』甲『私は江戸だが、お前さんは何處でごせへます』乙『私は駿州で』甲『ハア駿河でげすかへ、其方のお方は何方で』丙『俺は甲州だ』甲『ハアエ、其方に居なさるお方は何方で』丁『私は越後でのんし』乙『其方にお在なさるお方、貴所は何方でこいざます』戊『私は上方ぞす』乙『ハア上方は何處でございます』戊『大阪どす』甲『ハアお前さん大阪かへ』乙『どうも退屈で仕様がねへ、一つ面白い話をしやうぢやアありませんか』戊『さうどすなあ何ぞまあ皆はん話しやさらんか』そこで甲州の人は甲州の打栗武田信玄の自慢をすれば、越後の人は小千谷縮に上杉謙信の自慢を云ふ、信州の人は眞田幸村に田毎の月、各々其國の名物の自慢話をする 江『エ、駿河の方貴所の國では何が名物で』駿『左様、私の國ではマア名物と言つても是と云ふものはございませんが、マア日本の名物が駿河の名物、私の國には日本一の富士の山と云ふのがございます』

衛生講話

肺結核の全快に就て 衛生記者

此頃赤十字病院の醫學士一木儀一先生、京都醫科大學醫學博士笠原先生(内科助手)醫學士海輪十二先生、醫學士本多元俊先生の諸大家が肺結核の特效藥として實際其效驗著しきものは順天堂安原氏發見のウニコールであると斷言する而已ならず本藥を試驗して其效力の卓絕なる事を證認せられたとの事であるから記者は寒さ强き今日此頃肺病に罹て煩悶患嘆して居る人の爲同情の念に堪られぬのと且つは肺病治療上非常の參考にもなる事と思ひ此特效藥ウニコールの發見者たる安原氏に就て肺結核に關する同氏の實話を聞た、氏は語つて曰く私は自分で肺病に罹り永い年月の間醫師よ藥よと隨分手に手を盡したけれど更に效顯が無いので一時は迚も駄目だらう此劫病の治る譯は無いと思ひ殆んど失望しましたがどうも殘念でならぬ、其極こう考へた自分は多少醫藥學の教育を受け又自分の生家は醫師であるのに此儘死んでなるものかと思ひ、大に勇氣を鼓舞し治療に全力を盡して苦心し自分の弟等專門醫二人の助けもあつて茲に始めて發見したのがウニコールで私は此靈藥と自己獨特の治療法とで流石の難病も夢の如くに全快し以前の落膽を昔語にする樣になつたので此上は世の同病者にも幸福を頒ちたいと思ひ夫れからと云ふものは同病者と聞くごとに靈藥ウニコールを勸めた處其都度效力あらはれ今日までに全治、輕快した人は既に數千人の多きに上つた、又高貴の方方からも續々と御賞讃の詞を賜はり自分に取つては無上の光榮である、此上私の希望と云つたら世間多く此難病に苦しんで居らるゝ患者に自分の全治した療法を知らせて其悅びを分ちたいのであるが何分此病氣に罹ると彼がよからう是がよいと色々の治療に迷はれるので困ると云々と語られた斯く語り來られたウニコールの發見者たる安原氏は同病者に自己全快の療法を書た、大冊子を無代進呈したいとの事であるから肺病又は肋膜炎氣管支加答兒等で難澁せらるゝ方はハガキにて東京日本橋呉服町二番地順天堂藥院安原尙親氏へ宛申込右の書物の送付を受けたら治療上非常の御參考にもならう又同氏に就て其實談を御聞きになつたらよからうと思ひ升……CO生

父又兵衛葬送之節ハ遠路有志諸君難有奉謝候茲ニ乍略儀以紙上御禮申述候
二月五日
天眞樓
嗣子 新田利兵衛
親族友人一同

東京電報

▲**政務總監參內** 山縣政務總監は五日午前內閣に立寄りたる後參內朝鮮政務に關すること及び李王殿下御健勝の旨具さに伏奏し尙御下問に奉答する所ありたり

▲**豫算削減査定** 中央派にては本年度豫算中より五千萬圓を國民黨は六千五百萬圓を削減せんとし五日の代議士會にて其大体を決議せり

▲**政友會と拓殖豫算** 政友會にては五日拓殖關係の官吏と共に植民地豫算に就て協議せり

▲**支那問題と米國** 紐育發電に曰く米國の政界は清帝退位の免るべからざるを知悉し列國に先んじて共和政府を承認し以て商業上の利益を獲得し尙革命軍の公債募集に應ぜんと言明せり

▲**各局長の昇叙** 宗教局長斯波淳六郎統計局長花房達三郎造幣局長谷川爲治氏等は近く高等官一等に昇叙さるべし

北京特電

▲**廣東城壁取壞** 外務省着電に依れば廣東の都督府は去る一日より城壁取壞ちに着手せり

▲**優待條件交涉** 目下南京政府と電照中にかゝる皇帝並に親貴優待條件の交涉協定次第皇帝自ら位を退き袁世凱を全權大臣となし南京政府と商議せしむとの上諭直ちに發表せらるべし

▲**案外に靜穩なるべし** 北京內外の警備嚴密を極めをるを以て退位の上諭發表せらるゝとも案外に靜穩なるべしと觀測さる

▲**皇太后遷居せず** 皇太后は熱河又は奉天に居を遷さるべしとの說あるも這は唯風說にして實は何れにも赴かれず依然北京に止るべしと

▲**慶親王家族避難** 慶親王は四日密かに家族を何れにか避難せしめたり一說によれば某國公使館にありといふ眞に近きが如し

▲**副大臣の逃亡** 陸軍部副大臣貢濬章は四日中何れにか逃亡せり

雜報

●**議會と朝鮮問題** 議會と朝鮮問題に關し五日午後十時總督府に達したる公電によれば五日政友會にて殖民地豫算に關する第二回政務調査會を開き荒井大屋の二長官出席せり殖民政務統一に關する各議員よりの質問に對し元田總裁より大体の答辨を爲し移民會社航路補助、教育、産業、水力調査、外國行旅費、宴會費、鐵道等に關し大体分科會と同樣の質問あり二長官より夫れ〱答辨せり數日來延期せられたる分科付款項質問は六日より開始の筈なり

●**司法官秘密會議** 六日より開會したる院長檢事長會議は午前十時四十分より倉富司法部長官室に秘密會を開き列席者は渡邊法院長國分檢事長外三控訴院長三檢事長山邊書記官の外一切部員の出入を禁止し司法機關の改革に關し數時間に涉り密議したり

●**總督司法官に訓示す** 寺內總督は六日午前十時倉富司法部長官立會の上渡邊高等法院長、國分同檢事長及控訴院檢事長外二院長並に中村京城控訴院長外二檢事長を病床に引見し約二十分間に涉り司法機關改善に關する趣旨並に實施に對する注意事項に付き縷々訓示する處ありたり

●**通信局新事業計畫** 朝鮮特別會計臨時部歲出に於て電信電話營繕費として三十萬圓を計上したるが其の計畫を聞くに四十五年度に於て創設せらるべき電信局約五十五個局電信線路の新增設四百七十里電話交換局新設一局特設電話の新設四五局電話加入者の增加約九百名市外電話線路の新增設百七十里なりといふ

●**定例長官會議** 六日の總督府に於ける定例長官會議は午前十一時より石塚、池田、小松の各部局長官明石總長、菊池、小原、小城の各長代官理並に俵副總裁列席政務の打合せを爲し散會したり

●**侍從武官着京** 朝鮮駐劄軍慰問の御沙汰を奉じ渡鮮の途にありたる奥村侍從武官は五日午後八時四十分南大門驛着列車にて入京長谷川町大觀亭に入りたるが南大門驛着の際は軍司令官上田中將、松永師團長、駐劄軍各部團長明石少將以下憲兵司令部各將校其他多數の出迎者ありたり

●**御慰問使旅程** 別項朝鮮駐劄軍御慰問使奥村侍從武官には九日午前當地發平壤へ向ふ豫定にて六日は午前中總督を午後より駐劄軍司令部第二師團司令部を訪ひ各優渥なる御沙汰を傳へ御下賜品あり七日午前十時憲兵司令部十一時より朝鮮步騎兵隊並に第二師團各部隊を御慰問され八日休息の上西朝鮮に向ふ筈なり

●**御慰問使總督訪問** 昨夜入京したる御慰問使奥村侍從武官には六日午前十一時五十分寺內總督を官邸に訪問し優渥なる御沙汰を傳へ更に御下賜品ありたりと

●**總督侍從武官招待** 寺內總督には六日午後六時より同官邸に奥村御慰問使を招待し晩餐の饗應あり陪賓として上田軍司令官松永第二師團長石塚取調局長官池田通信局長官明石憲兵司令官柴軍參謀長小松長官小倉大西の兩部長大島師團參謀長山縣武官山形憲兵大佐藥師川同中佐河野武官中村十時の兩副官を併せて招待したり

●**軍司令官邸晩餐會** 軍司令官上田中將は七日午後六時半より駐劄軍慰問使奥村侍從武官を主賓とし各部團隊長を招き晩餐會を開催の由なり

●**取調局と舊慣調査** 取調局にては朝鮮の舊慣に關し地方官公衙より之れが取調方を依賴し來るもの少なからざるが右の內最も多きは裁判所にて一ヶ月十五件乃至二十件に上れるが其の多くは民事にて相續、遺産處分、土地所有に關するものなりと尙ほ同局にて飜譯中なりし大典會通は既に完了し昨今淨書中なるを以て近々の內印刷に附すべしといふ

●**京畿道甘藷收穫高** 京畿道にては昨四十四年初めて管內二府三十六郡に內地種甘藷三十七萬四千九百四十本を配付し試作せしめたるに其の成績意外の好結果を納めたり即ち同年總收穫高豫想一萬八千七百四十七貫目にして見積價格三千七百四十九圓四十錢なるが之れを一反步に付收穫高を見るに最高六百八十貫目を穫たるは二三郡あり少なきは十五六貫の個所あるも其の平均收穫高二百四十貫目ありと云ふ

●**京都博覽會と朝鮮** 來る四月一日より五月三十一日迄二ヶ月間京都市に於て全國製産品博覽會開催の件に關し京都市より出品方勸誘を爲し來れるを以て其筋にては各道へ之が出品勸誘方通牒を發せり

●**鑛床調査終了地** 農商工部鑛務課に就いて聞くに朝鮮鑛床調査中今日既に其の調査を終了したるは北鮮地方中平安北道及び黃海道の一部分にして調査の結果に依れば此等の地方は金鐵黑鉛石炭の鑛床に富み鑛床は何れも有望なるが就中金は最も有望なるものゝ如しと云ふ

●**藥業者の請願** 朝鮮藥業家一同は不日發布されんとする朝鮮藥律に關し一致の方針を取るべき必要あり客年十一月二十五日京城日本人商業會議所に於て朝鮮聯合藥業大會を開き二三の事項に就き決議したることは既報の如くなるが其の後同會にては其の筋に對し此の際藥品及び賣藥業取締規則を發布せんとすることは社會衞生上至當の處置には相違なきも寬儼其の宜しきを得ざらんには營業狀態の薄弱なる我々同業者の發展を阻害し且つ衞生智識の幼稚なる鮮人に對し藥品及賣藥の普及を妨げざるなきやを保し難きを以て右取締規則は當分の間可成之れを寬約ならしめ且つ施行期限を法令發布後少なくとも一ヶ年後とされたく尙能ふべくんば法令發布以外一應組合に諮問せられたき旨の請願書を提出したりといふ

●**膳檢事正の送別會** 今回釜山地方裁判所檢事正に榮轉せる膳檢事正の爲め六日午後五時半より花月に送別宴あり尙同氏は來る八日午前九時半發赴任すべしと

●**半島鑛業振興上の意見**(其一)

▲**川崎農商工部技師談** 我輩の專門は鑛床地質調査の方面で一般鑛業の方面でないから鑛業發展策といふ質問に對する正解とは成り得ぬやも測られぬが該懸賞論文募集の擧を贊成するものであるから主として鑛床調査の結果より見て朝鮮鑛業事業なるものが若し適當なる經營法さへ施さるゝに至らば朝鮮一大富源となり得るの可能性を有するか否やを話すことにする即ち鑛床より見れば朝鮮は各種の鑛床に富むこと多く殊に日本內地に於て豐富ならざる或は其の存在が極めて稀なる稀類の鑛床に富む石金、鐵、無煙炭、黑鉛等の有望鑛床即ち之れにして就中金の鑛床は最も有望である昨年一ヶ年の産金額約一千萬圓に達し尙ほ將來其の經營法如何に依つては朝鮮の最大富源となり得べきものは金を除いて外にない而して現今は右一千萬圓の産金額中其の約半額は米國人に依り文明的の採鑛法を以て採金せられ他の半額は最も幼稚なる朝鮮式の採鑛法に依るものであるが米國人の採鑛中雲山金鑛を一例に採ると其金鑛石一噸中の含金量は約十圓を含み其の中より八圓七十錢乃至八十錢の産金額を得るに反して朝鮮人側に於ては一噸の礦石より四十圓以上の産金額を擧げ得る稀類の鑛石にあらざれば以て採金事業を確實なるものとして經營せず而も彼等朝鮮人等は採金の際含金量の半分以上は遺流して顧みぬ有樣であるから彼等が採鑛可能なりと思惟する鑛石は實際に於ては一噸八十圓以上の含金量を有するものとなり得る道理であるのであるから之れに依つて見るも啻に其の採鑛法を改良するに於ても尙ほ且つ莫大なる集金をなし得ば採金事業に依つて朝鮮富源を增すことが出來やう而して其の經營法等に至つては自ら夫れは鑛業專門家の職分に屬するものであるのだ

▲**大塚鑛務課長談** 貴社の鑛業發展策に對する懸賞論文募集は朝鮮富源の開發は鑛業を措て之れなく當局も大に贊成するところで其の發表の曉には以て大に當局の參考に資するものあるを信じ一日も早く發表期日の到らんことを希望して居るが扨て我輩一家の發展策はと問はるゝと職務は其の方面にあるもの、鑛業は元來が專門以外に屬するので之れを公表する程の意見を有せぬ殊に該發展策の如き所謂大政治家と稱せらるゝ側の人々に對しても鳥渡難問題であらうと思はるゝ種類のものに對しては職責があるだけ意見として申上るものがない寧ろ當鑛務課の各技師に就て意見を徵されたがよい

●**九州水産聯合會と朝鮮** ……庵原水産課長談……

九州各縣聯合水産會は一月二十三日より二十五日迄三日間大分市に於て開かれたるが今同會に出席し二日歸任したる農商工部庵原水産課長の談話を聽くに左の如し

▲**開會の重なる趣意** 九州聯合水産會開會の重なる趣意は內地人の朝鮮沿岸に於ける移住及び朝鮮漁業の研究にて從つて提出議題の如きも多くは之れに屬せり而して朝鮮漁業に關する各縣よりの提出事項は多數に亘りしも要は總督府が內地の漁民に對し保護利便を與へられたきことにして即ち朝鮮水産組合に對し餌糧供給の便を圖り又巡邏船を頻繁に派遣して沿岸漁民の風紀を取締り又醫藥施療を普ねからしむると同時に水難救濟を敏速に行ふこと等なり尙併合後朝鮮漁業の發達に連れ總督府が內地の官民に對し漁業に就て其間の聯絡と疎通とを缺き爲めに內地の漁民は總督府が併合後內地漁民に對する待遇の從來と一變せしが如き誤解を生ずるもの間々あり種々杞憂に過ぎざる事項の質問ありしも是等のことは予の說明に依り

▲**釋然として氷解** せしは予の滿足に不堪ところなり而して其の誤解の重もなる一例を擧ぐれば朝鮮人が恩賜金等に依り總督府が鮮人に對し漁業の開發指導を爲せしに對し內地人の漁業者が其の根本の精神を究めずして一意朝鮮に於ける營業を失ふにいたるやも測られざる如く思惟せること是れなりされど是等のことは舊韓國時代に於ても爲せしことにて殊に併合後は新附の民をして其の生業を與へしめ併せて生計の向上を期せしむる上に於て一層其の必要を感ぜしものあればなり例せば內地漁業者の如く短期間の通漁にして一年一人

▲**平均二百九十圓** 以上の收益あるに拘はらず鮮人は一年中漁業に從事して一年一人平均四五十圓に過ぎず而して這は鮮人の漁業法の幼稚にて粗雜なるに依るものなれば當局者として勢ひ之れが方法の改良を要する點に於て保護獎勵を爲さゞるべからざるや言ふ迄もなし由來朝鮮の沿岸は一般に未開地にして現に漁業者の分配に於ても一海里日鮮人を併せて十五六人に過ぎざるに反し內地は一海里二百人以上となり居るに非らずや斯かる狀態の下に鮮人の漁業を獎勵することは毫も內地漁民の利害に關係せざるのみか鮮海岸の漁場は內地漁業者の專有に非ず又

▲**鮮人の慣行漁場** たることを思へば今更內地人の彼れ是れと云爲すべきものには非ざるべし而して將來に於ても日鮮人は相提携し相融和して漁業の開發を圖るを急務とす云々

●**朝鮮煙草會社敷地** 朝鮮煙草會社は其の本社を南大門驛裏手古市町鐵道官舍脇に建設することに決定し既に敷地の買收も濟みたるが右敷地は四千二百坪にして價格は約二萬五六千圓なるが近々の內工事に着手すべしと

●**道路取擴請願** 京城日本人商業會議所にては豫て役員會に於て議決せし如く五日付を以て京城日の出町總督官邸下より永樂町通りを經黃金町にいたる間の道路を巾六間以上に取り擴げんことを切望する旨の請願書を其の筋に提出したりといふ

●**鮮人相手貸金業狀態** 京城府廳調査に係る管內朝鮮人商人對鮮人向貸金業者の經濟的關係を揭ぐれば管內貸金業者の現在數及び資本金額は個人貸借に於ては秘密を固守するを以て其の確實なるを知ることを得ざれど鮮人向貸金業者總數は內地人四十名鮮人一百名內外にして其の資金は比較的大資本の者にて三十萬圓內外小資本家は二百圓內外にして該業者總資本は三百萬圓を出でざるが如く其の貸附狀況及利子の限度は三十九年統監府設置當時は土地の價格漸次昂騰に赴きしを以て將來を豫想して土地の買入に從事するもの多く從つて資金の需用加はり貸出金の增加すると共に其の利率も普通百圓に付日步十錢を下らざりしが其後併合と共に土地價格低下し且つ恩賜金の下賜等の爲め金融上資金の潤澤を來らしめ借入の必要を見ざるに至り現今に於ては貸出金も前日の如く多額に至らず加之內地に於ける資本家の渡鮮して鮮人向貸金業を營む者あり益々資金の潤澤を來すと共に其の利率亦低落するに至れり即ち彼等貸金業者は彼の高利貸等の如きを除きては一般は信用薄く資金を銀行に仰ぐ能はざる小商人、市場商人小料理店、酒稼、農夫、勞働者等に對して貸附を爲すものにして其の一人に對する金額は最少五圓多きも千圓以上に上るもの殆ど稀にして期間は概して最短一ヶ月最長十ヶ月を越えず利率は一ヶ月最高百圓につき日步七錢最低四錢八厘を普通とするも又た市日每即ち五日間を貸借及び回收の期間とし利率一市間一圓につき二錢とし時に返濟期を十二市間まで延期することあり運轉資本僅少なる鮮人向貸金業者の多くは此市日貸出を目的として營業を營むものとす最後に此等貸金業者の地方金融に及ぼす影響を述ぶれば小賣人及び市場商人の如きは其の資金の融通を此等貸金業者に仰がざるを得ざるの狀態なるを以て若し此等貸金業者より融通杜絕せんか彼等が商營上の大打擊たるは勿論にして爲めに此等諸商人は其の營業を休止せざるべからざるの密接なる經濟的關係を有し他に銀行等の金融機關のあるあるも個人貸付業は今日尙ほ地方金融上に重大關係を有する狀態なりといへり

●**實業功勞者調査** 今回總督府にては或る必要上內地人及朝鮮人にして夙に實業の經營に努め他の模範となり又之れが勸獎指導に盡瘁し地方産業の改良發達上特に功勞あるものを調査せんが爲め功勞者の履歷、住所氏名、生年月、職業、族籍、資産、功勞の事績、等に就き之れが調査方を京城日本人商業會議所に委ねたるを以て同會議所にては昨今右調査をなしつゝありと

公人私人

●**宇佐美長官引籠** 宇佐美內務部長官には五日夜來微恙の爲め引籠靜養中也

●**生田書記官の東上** 生田農商工部書記官は過般來病氣なりしが今回東京順天堂病院に入院すべく五日夜東上せり

▲水谷千萬吉(平壤鑛業所長) 浦尾

▲膳鉦次郎(釜山地方檢事正) 八日午前九時發

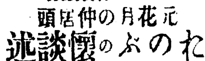
▲阿部讓(朝鮮銀行平壤支店員) 平壤行

▲**京城手形交換高**▼

二月六日 枚數 七一七 金高 二四三、八五九、七九〇

▲**茶袋**▼

京城東部の崇信面と云へば十二洞から成立つてをる廣い部落であるが、同面に住居してをる貴族朴泳孝氏は、此程朝鮮人側各學校に頒たれし教育勅語の精神を一般に普及せしむる目的にて、教育勅語捧讀會と云ふものを組織し、面民の老幼男女となく之れに入會せしめんとの計畫を立て此頃頻りと奔走中であるとか迫に朴怏な實に結構なる企て、吾輩は同會の成立一日も速かならんことを希望する▲トロール漁業者が朝鮮海に入込んで頻りと荒してをるので、總督府は之が取締を沿海警察署に向け電訓したが、此トロール船を捕へやうとするにはトロール船以上の快速力の漁船を要するので取締が中々行屆かぬ▲ソコで農商務省は海軍省に交涉して爾來軍艦を以て追拂ふことゝなつたげな、朝鮮でも追々此方法によつて取締るやうになるであらう―。



元花月の仲居頭

おのぶの懐談述

(其の七)

『兎に角一同思ひもかけぬ事でムいますから暫らくは茫然と致して居りました、何しろ對手が西園寺様、若槻様、山座様、統監府側でもお歴々計り、打ち捨てゝ置くことは出來ませんからお醫者様を頼んで原因を調べ上げた結果は差上げて殘つたお肴に綠青が着いて居る其様筈はないとは思ひながら臺所の道具を檢べると貴許、爭はれぬもの

料理用の大きな銅鍋に少々**綠青が生**いて居ましたので板場は大眼玉、夫でも大した事に成りませず皆様御無事に御着に成りましたのでホッと胸を撫で下しました』と全く安心したかの体『其方は先づ夫で片付きましたが今度は**花月が西園寺**様と**若槻**様でしたか**山座**様でしたか一寸忘れましたがお兩方様の**お宿**を承つて居るのでムいますから此が又大變、若槻様か山座様かの一方は鐵道の特等官舍へお泊りに成りましたがお給仕萬端は花月で承はりました、若槻様や山座様と來たらお口の惡いこと此上なしお着に成ると直ぐモウ何か差上げるものを御覧になつて大丈夫か大丈夫かとお揶揄になるのでお揶揄と承知しては居りましても前の例がありますのでヒヤ〜致しました、**御滯在**はタツタ**二日**でムいましたが其二日の長い事と申しましたら二十日程にも思へました失禮の無い如と其苦勞たらありませんでした夫れで貴許、**夜晝なし打通**しの**大騒ぎ**天長節と紀元節が一緒に參りました如でした、お給仕に出しました藝妓衆は花月でも一粒撰りの別嬪で御存じでしようアノ**房江**、夫れから**花奴**、**りう子**と此三人、附つ切りでムいました、夫れでもマア大した失策もなく無事に二日を勤め上げたのでイザ御出立となると**私**にだけの**お心付が百圓**、二日で

百圓の御祝儀を頂戴しましたのは、へ、空前にして絶後だらうさ、エ、エ全くです、夫れに今の如に出つて居ましては十圓も覺束ないんでムいますよ』トもすると愚痴になる、おのぶ藥女も年を老つたものだ、と思ふて見ると著しく小額の紙が日に立つ『一つ頂戴致しましようね**昔の事**を思ひ出すと隨分面白い程お金の儲かつたものでムいますよ、**此方**と**間に入つて彼方**と操つて、流れるお茶屋の仲居位儲かるものはマア澤山ありますまいね、エ、宿屋でもない花月にお客をお宿め申して警察は何とも云はなかつたかと仰云るの、處が貴許、巡査様が門に立番ですよ、道普請の往來止めは警察でも八釜しいが統監一人の往來に三十分も前から往來止をした時代ですもの何とでも融通が利いたものですエ、現在は其様馬鹿氣た往來止めは無いつて、當然でさアね貴許アホーらしい』(つゞく)

●吉彌信藏 浮名の立春

▽お芝居外のお芝居

東西イ東西ッ、此所許御覧に入れ奉りまする新聞記事標題の儀は『吉彌信藏浮名の立春』勤めまする太夫は竹本筆太夫三味線褶棹墨藏先は其爲め口上左様、イヨ待アつてましたと拍手御喝采を蒙る積で太夫身仕度な調ひましたれば舞臺正座迄控へさせまーすと、犬芝居だか玉乘りだか譯の判らぬ口上を前置きに扨も其犬芝居ならぬ猫芝居と申上げるお氣の早いお若衆なぞは猫が絞りの浴衣に豆絞りの手拭を一寸斯う姉さん冠りの猫おや〜の三味の音に連れて生きた鰯を炮烙に入れた樣とシャン〜踊る事だと思召すかは存せねど此所に申す夫れは決して然にあらず六日の晩まで壽座で、とまで申したらウム彼れかアノ**藝妓芝居**かと點頭るべし、然り其藝妓芝居の事でムるが孰れ優り劣りの無い一列一体の上出來に小屋にヒヾが入る程の大入叶つたり願つたりの**初日に野崎村おみつを勤め**極上々の大出來に滿都の士女に眼を剝かしたるは誰あらう蔦家の**吉彌拍子**僅か十日位の稽古でアノ上出來舞臺度胸は生れ付いての事としても手振り身振りのア、迄上達してようとは釋迦様でも御存じなかつたに相違ないと申す所以のものは毎日稽古中後見同樣に何かと世話を燒いた誰かさんでされ左樣ぢやつたもの、子の產るゝや產るゝの日に產るに非ず陰陽合一五大化成、チャンと其原因なるものあること皆様先刻御承知の通りなり、されば此理に因つて此吉彌拍子のおみつの出來ぬ水際立つて居たにても必ずや原因なかる可らずさ彼れか此れかと千辛萬苦を嘗めて探つて見ると果せる哉勿驚魂消る勿れの理由あれど獨身者が痒い筋を蚤に啄まれし如くはかくにかけない際どい話、一旦はモウ書かずに止めようかと諦めかけて見たなれど何分にもの一大事なれば荒筋だけでもお知らせ申さずば社會の木鐸一世の指導者を以て任ずる新聞記者の天職たる一分相立たずと秘密お話しではない報道するが爲なれば可成お眼を字の近くへ持つて來て御覧下さるべし然る程に此回の藝妓芝居を思ひ立つや稽古をば壽座にて開演中の本職に頼みし以來一同同座へ通ひ詰て居る内遠くつてさへ近いと云ふ男女の況して左樣ことは屁をするよりも手輕に思つて居る吉彌拍子**手を執て教へて呉**れる**役者の親切**が身に泌みると同時に何とかお禮をしたいと殊勝な心掛を出し若くて奇麗なのをと見廻はした眼についたのが夫れアノ六助住家の場で吉彌の徹塵彈正の後に立つて引込んだ**嵐信藏**忽ち何した交情となつてよりは稽古も一生懸命ばかりか舞臺の上へ出てまでもアノ後見振り羨ましいやら腹が立つやら

●娼妓の板の間稼

▽貧すりや鈍する

本年一月に入りて新町遊廓内の新町湯にて婦人の入浴客中盗難に罹る者續出するより南部署長野岸佐藤の三刑事は鋭意犯人の嚴探中なりしが廣島縣廣島市勝山町徳次郎三女黒川よし(二五)とて去る四十三年六月渡鮮以來太平町のいろは西小門通の日の出樓等にて酌婦をなし居たることある女が其後群山開城邊までも迂路付き廻り昨年十月中旬再び京城に舞ひ戻り當時大和新地壽樓事奥山清助方に第二種藝妓として娼妓中なるが其の當時より評判宜からざりしは目を着け去る三日嫌疑者として引致取調べつゝありしが最初は只知らぬ存せぬさばかりにて背を吐かざりしも遂に包み切れず一月九日午後四時頃新町湯にて入浴中なる榮月樓の第二種藝妓藤井なかの三圓五十錢在中の財布を竊取したるを手始めに同月十四日午後四時同湯内にて榮月樓の細谷かつの金一圓及び認印在中の白茶裏皮二ッ折財布を同二十八日午後五時同所にて一ッ鍋の飯をツヽキ合ふ間柄なる松浦はるの所持金三圓を竊取したることを自白に及びたれば尚餘罪ある見込みにて引續き取調べ中なるが滑稽なるは抱主なる壽樓主奥山清助は百餘圓の身代金がフイにならないので白々しくも右よしは平素忠實で性質は至極温順の方なればホンノ淺墓な女の一時の出來心よりなれば此後は充分監督すべければ特に今回に限り御放免を願ふとの歎願書を差し出だしたりとのことなり

●四十六日の流連

▽夫れでも未だ飽きず

仁州猫島遊廓壽樓に昨年暮の廿三日の晩登樓し今以て四十幾日かの流連に飽もせず白菊女郎に現を拔かし有頂天に成て居る男あり孰れは無理心中でも仕出かしはせぬかとは或人の話抑々此の男と云ふは本國は大分縣日田郡日田町百九十六番地當時仁川萬石町宮崎與一郎方止宿川上作二(三五)とて元仁川に在て燈臺局の大工棟梁で忠實な働き振りに少なからず郵便局へ貯金が出來其後燈臺局を廢めて昨年の五月から平壤榮町松本長吉方に雇はれ此處にても腕一杯に働いた證據は暮れの廿日までに百〇八圓の貯へが出來たので夫れを懷中して同廿三日前記の宮崎方に來り其晩直ちに壽樓に車を飛ばして白菊を敵娼に飲めや歌へが病の元となり其儘流連して何日しか懷中の金は費ひ果したので更に仁川郵便局からは貯金の百余圓を全部引出して遊蕩し昨今互に大熱〜なりと

●不思議の縊死体

▽原因不明が訝しい

西大門内慶煕宮興化門内居住金在善の弟鐵道員養成所小使金順龍(一七)と云ふが六日午前七時十分頃門内の松林中にて兵兒帶を以て縊死を遂げ居たるを發見し西大門分署に届け出でたれば即刻高宮巡査警察醫と同行檢視の上死体を兒に下げ渡したるが原因不明なり

花月のおたつ

藝妓が一萬圓處分法

花月の勝利を訪ふ、相變らずの素顔に白粉氣の無い所も嬉しい、チヨイと私此頃千里眼を研究してるから今日邊り貴許の入來ることは心得てました、エ、ト御用は一萬圓でしよう嬉しいワ一萬圓でも結構よ、併し花月には若一さんだのお辰さんだの古參い妓が居るから私しや筆頭には御免を蒙つてよ『お辰さん』と謙遜して居からさらばとお辰さんに膝を向ける

勝利さんに巧く逃げられました、私は古參と申しましても何でムいますよ、御存じの通りツイ先日戻つた斗りですから新參も同樣でムいますが、勝利さんが御遠慮の跡ですから私迄が御遠慮申すと若いお姐さんに默つて居なさいよと申すと同樣に成りますから一寸心注いたまゝを申上げます、鄉子の知惠でムいますねアレは私の娘なんで、私の身は何うなりましようとも彼女だけは、と始終心掛けて居りますので、一萬圓と申すお寶が手に入りましたならば先づ二千圓でもつて知惠を高等女學校位まで卒業致させまして、イ、エ私は矢張り藝妓を稼ぎます、殘りの八千圓此は銀行に貯金して置き其利息で年頃の苦學生の見込のある人の五六人程を幾分なり宛補助致します、私の申す補助は病氣其他萬止むを得ぬ場合のみを申すので、デ夫れが夫れ〜卒業した後を篤と見届けて殘つた元利金中で洋行させ歸朝後知惠の一生を見て貰ひたいと此れ丈けで御座います』と淋しく笑つた、僕はツク〜一萬圓此人に授けて遣りたいと思つた。

●強賊の就縛

長崎縣南高來郡口の津村大字大屋平民戸主吉田一(三〇)は客年來龍山方面に出沒して空巢覗強盜を働き現に本年一月以來龍山元町一丁目二十八番戸矢野ゆい方外數ヶ所に忍び入り衣類現金等價格金百餘圓を竊取したるを先程來龍山署の手に捕はれ訊問中の處五日檢事局へ送られたり

●一夜に二ヶ所の放火　四日午後十一時頃西部積善坊司醞洞三十二統九戸仕立業金召史方屋根藁に燐寸を以て放火したる者あり附近の人々駈け集まりて揉み消す▲同夜十一時二十分頃同一手段にて西部積善坊彰義宮前煙草商魏洪範方の屋根藁に放火したる者ありしが是れ亦大事に至らざる中鎭火するを得たるが其筋にては犯人の嚴探中

●逃走中を御用　當地米倉町一番地山村良輔方同居山村誠三(二九)と云ふは一月二十七日付にて廣島地方裁判所勝井豫審判事より竊盜被告事件に就て拘引狀を發せられ居たる者なるが六日午前十一時半頃南大門通三丁目靑物市場京屋方に於て荻野刑事に逮捕せられ目下南部署にて取調べ中

●女郎屋で密賣淫　愛媛縣新居郡橘村百三十五番地嘉太之源妻當時大和新地寶榮樓主山田あさ(三五)は未だ其筋の許可を受け居らざる大坂府生れの泉尾きく(二二)を昨年十一月十六日より本年一月三十日迄密賣淫を爲さしめ居たる事發覺し五日兩人共告發せられたり

●仁川の遺失　仁川山手町三丁目タウセント商會員宮里佐利は六日午前十時同商會より同町自宅へ歸途中赤革製三折鞄入りの船荷證券七枚同仕切書數十枚小切手三枚額面五百六十六圓餘を遺失し屆出づ

●肉賣の泥棒兼業　東部崇信坊二橋洞六十六統二戸牛肉販賣人朴厚善(四八)は五日午後十時頃櫻井町三十八番戸須田久吉店頭の卷煙草五十個入一箱を竊取逃走せんとする處を家人に認められ其の筋に突き出さる

●打つた故に打たる　五日午後九時頃米倉町朝鮮人人力車駐車場内にて賭博中取押ねられたる車夫朴健植(三三)同池昌一(三六)同李千甫(三二)の三名は六日南部署にて各笞刑三十に處せられたり

●龍山の赤痢　舊龍山元町四丁目十一番戸北善次郎長女キミは赤痢病に罹り五日順化院へ收容せらる

●演藝だより

▲壽座　大入叶ひ藝妓芝居も六日の夜限りで目出度千秋樂を告げた跡は引續いて若島屋一座を以て蓋を開ける筈であつたが何うした都合か急に捲き返して當地歌舞伎座から仁川歌舞伎座へ代つた改成義團と云ふを迎ひ七日初日を出すことゝなる藝題は『惡魔』全五場一同大車輪にて勤むべしと▲仁川歌舞伎座　壽座にて好評を博したる若島屋一座六日乘込七日初日▲歌舞伎座　浪花節芝居七日の代狂言は前『辨慶新五郎』の續き切は義士傳中の『丸津田越前守』『忠僕直助の傳』▲浪花館　圓若一行の落語手踊音曲等

◎新町だより

▲『私も今年は二十才です、なんだかこう華やかな乙女の時代が過ぎ行く樣で寂しい想ひにうたれます、どうか今年は切實に泣ける樣なおちついた心持で暮たいと思ひます』(下略)井門の房枝が手紙の一節にこんな事が書いてあつた、切實に彼女を泣かせ得る樣な男あらば通ひ給へや▲賣れないからお茶を挽く、お茶を挽くから莫迦にされる莫迦にされるからひがむ、ひがむので朋輩から邪魔物にされる、情ない口惜しい無念だが之れを見返して遣る可く淸進樓の鈴子はあまりに醜い、斯くて自暴の極物狂はしくなつた彼女は初會の客に身受して遣るさからかはれて丸髷に結つて嬉んだ、悲劇の極は喜劇である▲節操を賣る事を好んで終世娼婦の生涯から離れ得ぬ側の女も郭にはまゝある、お職に成つて三ヶ月目の赤飯を無上の榮譽と心得る樣に成つては彼等の脣は已に腐つて居る、第一樓支店の小式部などは此類に屬する(鹿の子)▲一寸讀者に素破拔くが筆者が號の鹿の子と云ふのはエツヘツヘツ(平民文庫の小僧)

平民文庫

▲龍山一見生君よ、事實投書されたし▲龍山濁流生君よ、御同情深謝に堪へず(以上二件係)▲小生方娘に茶の湯揷花稽古致させたし宜敷女教師あらば敎へて下さい(希望生)▲仁川の或湯屋で二三商人らしい人が税關と燈臺局の購買官吏の詳說をして居つたが燈臺局の方は年末の贈物をしても一切受取らんが税關の方は中々慾張で迷惑する事があると云つて居た(御用商人)▲當然だ税關は取らう取らうが稼業だ(小僧)▲仁川千鳥正宗の主人は若い妓斗り撫斬り(仁川子)▲當朝鮮各所に内地人學校組合成立しつゝあるが右費用は各組合所在地日人の負擔すべきことに制定され居るに各憲兵は軍隊と見做し右課税を負擔すべき義務なき旨警務部より通達とか命令とかある由にて課税を免れ居るが憲兵の子弟は教育の必要なきものなるや目下の憲兵は軍隊と異り一兵卒に至る迄妻帶を許され他の官憲と毫も差異なきものに付相當賦課を受くる事にせられ我々居住民の幾分を補佐せられてこそ官憲の威權も自然發揚することゝ信ず右警務總長閣下に進言す(國民黨)